

目次

キャリア教育をはじめよう。

理論編

P1

- 小・中学校9年間を見通して、授業のねらいや留意点、展開方法など、授業者がキャリア教育の視点をもって指導するためのガイドラインです。

自分の夢や目標を見つけよう。

小学校編

P19

○ ノートの目的

様々な出会いや体験を通して、人を知り、社会に触れ、夢や目標を見つけるお手伝いをします。

- 多彩なテーマ設定のノートに沿ってじっくり考えたこと、体験したことを記入することで、「4つの能力」を育てる授業を補助します。
- 夢を見つけるために、Plan Do Check Actionの流れに沿ったノートに記入することで、目標を定め、行動し、振り返り、改善するというサイクルを自然に行えるように導きます。



なりたい自分を見つけ、かなえるための一歩を踏み出そう。

中学校編

P86

○ ノートの目的

夢や目標探しの歩みを続けるとともに、見つけた夢をかなえる一歩を踏み出せるように導いていきます。

- 自分の力を把握し、次の目標設定を行って動き出すことができるテーマを数多く設け、「4つの能力」を育てる授業を補助します。
- 夢をかなえるために、Plan Do Check Actionのサイクルのノートに記入することで、キャリア形成にかかわる思考の深化を促し、主体的に活動できるようにします。



自分の生き方、働き方を発見し、かなえるために具体的に行動しよう。

高等学校編

P175

○ ノートの目的

自分を社会に生かし、自立をめざすために、具体的な行動を起こせるよう導いていきます。

- 社会でどう「生きる」か、どのような仕事に就いて「働く」のかという考えを深めながら、自らの意思で夢や目標を具体的に描く力を育てます。
- 今の自分と目標のギャップを埋めていくためには何を「学ぶ」べきかを知り、目標を実現できるように後押しします。



生きる力を育て、社会との接点、活躍する機会を増やそう。

特別支援学校編

P224

○ ノートの目的

一人一人の体や心の状態に合わせて目標を設定し、そこにたどり着くための学びを通し、社会で生きるための力を育みます。

- 学校生活だけでなく、日頃の家生活を通して児童生徒の可能性を育んでいくため、児童生徒、保護者、そして教師がお互いにキャリア教育の目的を理解し、いっしょに歩んで行くことを重視しています。
- キャリア教育で育む力を全員が理解し、達成をめざすために、「4つの能力」を「就労につながる4つの力」として設定しています。
- 個別の目標を設定し、学びの計画を立てることで心や身体の状態に即したキャリア教育の実践を後押しします。

